



AIのニュースを読み解く 2026.09.25

3Dの世界を、言葉で頼む

原石工房

隠れた才能に気づき、花開く

Xに、AIが作った3Dの世界が次々に出た



原石工房

9月22日にClaude Opus 5.5が出てから、3日の間に

ダークソウル風

1回目の頼みで出た、と本人
9月22日 Alexさん

日本を舟で行く

天気や昼夜が変わる景色を、舟で進む
9月23日 Meng Toさん

鳥とカニの島

鳥が飛び込み、カニが歩く。約8時間
9月23日 Danさん

Minecraft風

ブロックの世界を、ブラウザの中に
9月22日 Noahさん

ブラウザは、もともと3Dを描ける



3Dを描く無料の道具Three.jsを、AIが使う

言葉で頼む

「夕暮れの島を作って」



AIがコードを書く

3Dの部品集 Three.js を使う



ブラウザで開く

そのまま3Dが動く

無料の3D部品集がある

AIがその使い方を書く

できたファイルを開くだけ

試しに、4つの文で頼んでみた



原石工房

9月25日、Opus 5.5に。道具の名前は出していない

頼んだ文（全文）

ブラウザで開くだけで動く、
3Dの小さな島を作ってください。

夕暮れの海に浮かぶ島で、
波がゆれて、灯台の光が
ゆっくり回っています。

マウスで見回せるように
してください。

HTMLファイル1つに
まとめてください。

6分49秒で、ファイルが1つ

APIの料金で約136円

手直しはしていない

返ってきたのは、この島

夕暮れの灯台島



Opus 5.5 が返したファイルを、そのまま開いた画面 (9月25日・手直しなし)

島を作った人は、見て「変だ」と言い続けた



原石工房

約8時間かけて島を作った人の、頼み方

頼んだことの99%は
「これを足して」か
「変だ、良くして」

— Dan Greenheckさん 9月23日の投稿

人物と手ざわりには、まだ人の手が必要

作り手たちが、自分の投稿に書いていたこと

得意だった

水の映り込み

景色と建物

昼と夜・天気

鳥やカニの動き

まだ人の手

人物の形

遊びの手ざわり

仕上げの舵取り

プロの3D造形

水や建物は、細かく作れた

人物は別の道具で作った人も

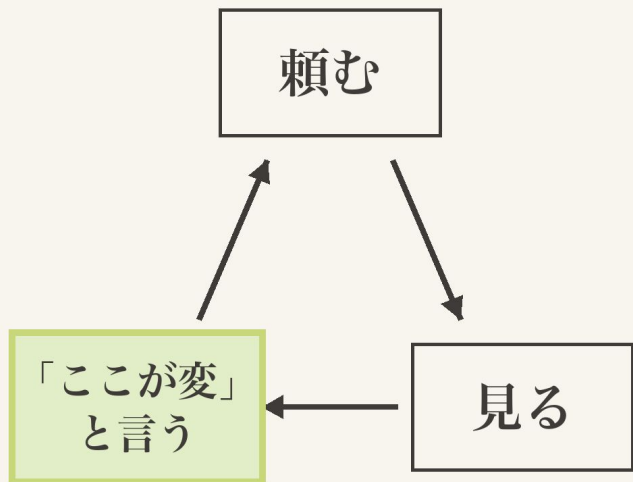
手ざわりは、まだ人が上

作らない私たちに、関係あるところ



原石工房

要るのは、見て「ここが変」と言えること



見本は、言葉で先に出せる

直すのは、見て言うこと

作品には時間も費用もかかる

くり返すほど、思った形に近づく

言葉で頼むなら、何を見てみたいですか



原石工房

隠れた才能に気づき、花開く